

後援会会報

Vol. 23

Maebashi Institute of Technology Supporter's Association



後援会会長 挨拶

充実した
学生生活の
ために



令和2年度
前橋工科大学後援会
会長

小林 正弘

前橋工科大学後援会の会員及び関係者の皆様には、日頃より後援会活動にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。

本来であれば、後援会総会でお諮りするものですが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、通常の後援会総会の開催ができません。

書面での決議となつてしまふ皆様には大きなご負担とご迷惑をお掛けしました。書面開催の結果、2020年度の

前橋工科大学後援会会長に承認いただきましたので、皆様と共に学生と大学の支援のお手伝いをさせていただきます。一年間ではあります

後援会では、教育活動に

関する支援として、英会話教室の開催やTOEIC受験料補助、海外留学生の支援、学科助成を行つてい

ます。また、就職活動に関する支援や福利厚生に関する支援など、充実した学生生活を送れるようサポートしています。

今年度については、新型コロナウイルス感染防止対策についても大学と連携・協力を図って支援して参りたいと考えています。

後援会の会員の皆様には、ご理解とご支援を引き続きよろしくお願ひします。

コロナ禍での 本学の対応

理事長 宮下 雅夫

工科大生の保護者の皆様、こんにちは。皆様には、口頃から大学運営に様々なご支援をいただき、厚く感謝申し上げます。

今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、入学式を中止し、新入生のオリエンテーションもできない中で5月からの遠隔授業の開始、そして6月29日からは、感染対策を施した上で、対面授業を開始いたしました。学生の皆さんには、大変ご迷惑をかけましたが、何とか予定通りのカリキュラムを達成できそうです。保護者の皆様にお

かれましては、物心両面にわたりご支援いただき、厚くお礼申し上げます。

いまだに新型コロナウイルス感染症は、終息せず、これから迎える秋冬に更なる蔓延も予想されます。今後も、学生の皆さんの安全を第一に考えて、取り組んでまいります。

現在進めております学科再編につきましても、現在の6学科を「建築・都市・環境工学群及び「情報・生命工学群」の2学群に大括り化し、学群内にそれぞれ3つのプログラムを設置する予定で進めております。工学基礎教育の充実や学群内の他プログラムの履修を可能にするなど学修の幅を広げ、多様化する社会の中で活躍できる幅広い知識・俯瞰的視野を持つ人材を育成してまいりたいと考えております。今後、具体的にカリキュラムや入試方法を定めまして、令和4年度から新たな学群で

学生を迎えたいと準備を進めているところと

今年度の就職活動については、新型コロナウイルスの影響もあり、学生さんは難しい対応を余儀なくされておりますが、キャリアセンターのきめ細かい支援もあり、順調に内定者が出ております。また、公務員試験の面接対策にも実際に公務員採用を担当した経験者による指導を行うなど取り組み強化を図っております。

結びに、保護者皆様の健康・ご活躍をお祈りいたしますとともに、後援会の発展をご祈念申し上げます。ごあいさつといたします。



今後の前橋工科大学のために

学長 星 和彦

本年1月、センター入試の際、コロナウイルスへの注意はありましたが、ここまで拡大し、影響がつづくとは想像しておりませんでした。3月の学位記授与式は卒業生のみ、4月の入学式は中止、そして授業は一月遅れで5月から遠隔授業により開始。学生の皆さんが大学のキャンパスで学べるようになったのはようやく6月末からで、夏休みも短縮を余儀なくされ3週間。すべてが異例のなかで、教職員はもちろん、学生の皆さんの協力があつてここまでこれ



たと考えております。

同級生など学生同士の触れ合いや交流、教職員とのつながり、そして社会との結び付きなどがあつて、はじめて学生生活、大学という場であると私は考えております。このような状況もひとつの経験、ということには犠牲が大きいことを感じております。学生の皆さんだけでなく、教員も遠隔授業に最初はとまどい、事務局のサポートを得てのスタートで、充分とはいえませんがこれまで進めることができてきたと思えます。こうした変化が大学教育に及ぼした影響は大いなのですが、一方で遠隔授業を有効に使えば、教育の方法や内容にこれまでない可能性を与えていけることがわかりました。「Withコロナ」、「新しい○○」とはよく耳にします

が、言葉ですむ問題ではありません。

いろいろ試行錯誤し、失敗や工夫を積み重ね、この状況に対応し、かつこうした体験は教育そのものなのだと感じております。

これからも、安心と安全の感じられる場としてあるにはどうすべきか、そのなかで学修活動と学生生活の充実を図っていくため何が必要とされているか、学生、教職員、さらに保護者の皆さまのご意見も伺いながら、求められる工科大のありかたを考えていきます。ある意味新しい実験ともいえると思えます。今後ともよろしくお願いたします。



令和元年度 学位記授与式

令和2年3月25日(水)、昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館)にて、学位記授与式が挙行されました。新型コロナウイルス感染症対策のため卒業生および修了生、教職員のみ参加とし、保護者および来賓の方不在の中、工学部卒業268名、博士前期課程修了48名、博士後期課程修了1名、研究生1名、以上318名が本学の学び舎を巣立っていきました。

学長式辞

想定を超える事態の中で、実行しうる形を探し試みた学位記授与式です。学位記は可能性と行動力を修められたことを証するものであります。就職、進学と方向性は多用ですが、本学で学んだことを基礎とし、どのような困難にも向かっていくことができると信じています。また学位記授与式とは新たなスタートの地点に立たれたことも表現しています。

この佳き日を迎えられたこと、自らの努力はもちろんですが、多くの方のご支援があったことも心にとめ、感謝を忘れないください。

皆さまのこれからのご活躍を心よりお祈りして、門出をお祝いする言葉といたします。

卒業生代表者から答辞

共通の学問を通じ入学から卒業までの間、大変有意義な学生生活を送ることができました。卒業を節目に様々な道に向かって進んでいきます。自覚と誇りを持ち、それぞれの道で発揮し、どの様な壁があっても乗り越え努力し続けることを約束します。



例年大学にて開催してまいりました後援会総会について、本年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、会場での開催を中止し、後援会の会員皆様には「後援会総会の書面表決について」のご案内状と返信はがきを送付し、書面にて参加いただきました。お忙しい中、ご審議いただきまして誠にありがとうございました。ご審議の結果は次のとおりとなりました。

1. 会員数	1、246名
2. 返信数	673名
議案第1号	賛成 673名 反対0名
議案第2号	賛成 673名 反対0名
議案第3号	賛成 673名 反対0名
議案第4号	賛成 673名 反対0名
議案第5号	賛成 673名 反対0名

全ての議案についてご承認を賜りましたので、可決として報告いたします。

事業報告及び決算報告等の詳細につきましては、前橋工科大学後援会ホームページの「事業について」内に掲載しましたのでご参照ください。

役員募集のお願い

後援会では学生たちがより充実した学生生活を送ることが出来るよう、各事業を実施しており、会運営のための役員を募集しております。

高校までのPTA活動とは異なり、各種資料作成や発行物等を作成していただくことはございません。主な活動としては、役員会にご出席いただき、後援会の事業計画や予算等について審議をお願いしております。ご協力をお願いします。

**学生団体
支援事業**

大学では学生団体として活動を許可された学生団体が共に活動をし、学年・学科を問わず、仲間を作りキャンパスライフを楽しんでいます。令和2年度は大学より30団体が認定をされましたが、本年度は新型コロナウイルスの影響で、活動のスタートが遅れてしまい、また本来の活動を行うことが出来ずにあります。

後援会では本年度も、より充実した活動を行えるよう各団体へ助成を行います。

大学が活動を
許可した
30団体

【部】

- ・アカペラ部 ・えん ・軽音楽部 ・硬式テニス部 ・Comic Create Club ・サッカー部 ・写真部 ・ジャグリング部
- ・ストリートダンス部 ・バスケットボール部 ・バドミントン部 ・バレーボール部 ・フットサル部 ・放送部
- ・毎週住宅をつくる会 ・ロボットテクノ部 ・スノーボード部 ・野球部 ・空手部

【サークル】

- ・クラッチ ・剣道サークル ・週末システムいろいろやるーぜZ ・スポーツサークル ・フットサルサークル ・すいーとほとと
- ・建築ラッチ ・マサコ ・ゲームサークル ・サッカーサークル
- ・学生自治会

※前橋工科大学では、令和2年9月1日現在、群馬県等の状況を勘案し、部・サークル活動を中止しています。

後援会助成事業

後援会助成事業について

前橋工科大学後援会は、学生の学生生活と大学の事業を支援し、大学の発展に寄与することを目的として、平成9年4月、前橋工科大学開学と同時に設立されました。本学在学生の保護者または保証人を会員として組織されています。

各学科の各学年の保護者の方から選出された役員の方と役員会等を行い学生生活の充実のため、様々な角度から大学支援および学生支援活動を行っております。

前橋工科大学後援会ホームページに過去に行った後援会の支援活動の様子を掲載しておりますが、本年度は新型コロナウイルスの影響で予定しておりました助成事業・支援活動が出来ておりません。

現在、実施してまいります支援事業を掲載いたしました。今後の動向を注視しながら更なる支援事業を進めて参りたいと思っております。

学科助成支援事業

後援会では、全学科に対し、会員学生の学生生活充実のための支援を行っております。

「オリエンテーションに係る費用」「作品集作成費用」に加え本年度は「コロナ対策として学科で必要な物品購入に係る費用」も支援の対象としております。

英語力支援事業

後援会では学生の語学力向上や専門分野の学習促進に繋げるための支援も行っています。

本学では、代表的な英語検定試験のひとつであるTOEIC「TOEFLテストを受験して基準の成績を収めた学生に対し、「キャリアTOEIC」の単位を認定しています。

【TOEIC試験料支援】

「聞く」「読む」英語力を測る事を目的としたTOEIC L&Rテストは全国80都市の会場で受験可能です。学生1人につき1回2,000円、年間2回(合計4,000円)の受験料支援を後援会にて行っています。

(学部1年生は9月に前橋工科大学にてTOEIC Pを全員受験予定です。本受験料の会員生分の金額を大学に助成致します。)



就活手帳

毎年、就職活動を行う学生向けのワークブックとして後援会が支援し作成している就活手帳を今年度も作成予定です。

学部3年生、院1年生に配布しております。

2年間分のスケジュールを始めとし、自己分析↓マネーアプローチの仕方↓試験↓内定を掴むまでのポイントまでを網羅した就職活動に必要なコンテンツ満載の支援ブックとなっております。スケジュール管理も可能で就職活動中の学生の強い味方です。進路実現に向けて、活用ください。

環境整備支援事業

後援会では、学生の学生生活と大学環境整備充実のため、「スポットクーラー」を4台購入し、大学に寄附致しました。大学では学生向けのセミナー、保護者会、オープンキャンパス、こども科学教室など様々な行事を開催しております。春から秋にかけて気温の上昇が危惧される日が多くなっているため、コンセント1つで利用でき、しかも移動可能なクーラーを購入し、本学の学生及び来学された方が参加するイベントで活用していただきたいと思っております。

本年度は新型コロナウイルス感染症の対策支援として、大学と協議しながら今後も更なる支援事業を進めて参りたいと思っております。



令和2年度予算

(収入) (単位: 円)

項目	本年度予算額	説明
1 会費	14,600,000	@50,000×267名、@40,000×5名、@30,000×7名、@20,000×42名
2 繰越金	8,762,246	前年度繰越金
3 雑入	254	利息加入等
収入合計	23,362,500	

(支出)

項目	本年度予算額	目		説明	
		区分	金額		
1 会議費	500,000	1 会議費	500,000	総会、役員会、懇談会、合同新年会等	
2 総務費	3,541,000	1 交際費	50,000	入学式・学位記授与式生花等	
		2 需用費	550,000	事務用品、会費振込用紙印刷	
		3 役務費	300,000	通信費、振込手数料	
		4 委託料	2,641,000	事務委託料	
3 事業費	15,750,000	1 事業費	3,000,000	会報作成、卒業記念品、バッグ作成等	
		2 助成費	12,750,000		学園祭助成 (翌檜祭) 1,500,000
					学校・学科助成 2,000,000
					部活動助成 1,800,000
					学生・福利厚生助成金 500,000
					教育支援助成 2,000,000
					生協助成 3,900,000
	就職活動費 1,000,000				
6 予備費	3,571,500	1 予備費	3,571,500	保健助成 50,000	
支出合計			23,362,500		

学内の様子

令和2年4月6日(月)、昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館)にて、本年度は工学部293名、博士前期課程34名、博士後期課程5名の入学生を本学に迎え入学式が挙行される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となりました。5月から開始された遠隔授業、6月末から対面授業も開始され、やっと学生達の姿を学内で見かけるようになりました。学校生活においては、マスクやアルコール消毒、パーティションの設置等、感染の防止対策を講じております。紙面を通して、学内の様子をお届けします。



通常授業より大きめの教室を利用し、密にならないよう学生が着席しています。教室の入口には消毒液を設置。



製図室の入口にも消毒液を設置。



密にならないように人数制限をしています。



学生がパーティションを作成しました。

感染症の予防策

に取り組んでいます。



■フェイスシールド



■食堂



■メイビットホール



■事務局



■PCルーム

卒業後の進路

令和2年3月末日現在

令和2年3月卒業生の就職先

※一部抜粋して掲載

大学(学部)	社会環境工学科	ジェイアール東日本コンサルタンツ(株) 東海旅客鉄道(株) 東京地下鉄(株) (株)ネクスコ東日本エンジニアリング 東日本旅客鉄道(株) 国土交通省東京航空局 群馬県庁 東京都庁	システム生体工学科	医療システムズ(株) (株)OKIアイティエス (株)小野測器 三菱電機ビルテクノサービス(株) 三益半導体工業(株) (株)ヤマト 群馬県庁
	建築学科	(株)アイダ設計 (株)石井設計 (株)協和建築積算事務所 三協立山(株) 鈴与建設(株) 大成建設(株) 大和ハウス工業(株) 高砂熱学工業(株) (株)竹中工務店 岩手県庁	生物工学科	アース環境サービス(株) 三生医薬(株) (株)大協精工 ハルナビパレツジ(株) 東日本旅客鉄道(株) (株)ユニオンシンク (株)ヨコオテイルーフーズ
	生命情報学科	(株)ジーシーシー (株)ジャステック (株)ソルクシーズ ドコモ・システムズ(株) 富士ソフト(株) (株)両毛システムズ 群馬労働局 埼玉県庁	総合デザイン工学科	(有)楽屋 構造デザイン工房 (株)鴻池組 佐田建設(株) プロファ設計(株) (株)ヤマト 福島県庁
大学院	建設工学専攻	東日本旅客鉄道(株) 東京都庁	システム生体工学専攻	くんぎんシステムサービス(株) シャープ(株) 太陽誘電(株)
	建築学専攻	(株)NTTファシリティーズ (株)ジェイアール東日本ビルディング 大成建設(株)	生物工学専攻	相模屋食料(株) 寿がきや食品(株)
	生命情報学専攻	NTTエレクトロニクス(株) (株)群馬農協電算センター 三井情報(株)		

令和2年3月卒業生の大学院進学先

大学(学部)	社会環境工学科	前橋工科大学大学院
	建築学科	筑波大学大学院 前橋工科大学大学院 他
	生命情報学科	東京工業大学工学院 前橋工科大学大学院
	システム生体工学科	群馬大学大学院 前橋工科大学大学院
	生物工学科	上越教育大学大学院 前橋工科大学大学院 他
	総合デザイン工学科	東京大学大学院 東京都立大学大学院
大学院	システム生体工学専攻	前橋工科大学大学院



企業資料展示

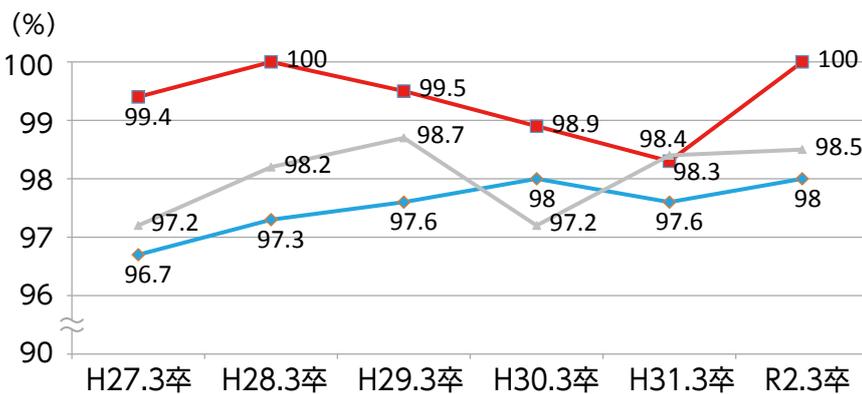
令和元年度 学部卒業生 就職者・進学状況

工学部 学 科 名	卒業生数	就 職 希望者数	就 職 者 数	就 職 率	大 学 院 進 学 者	専 門 学 校 等 進 学 者	そ の 他
社会環境工学科	49	42	42	100.0%	6	0	1
建築学科	56	41	41	100.0%	13	0	2
生命情報学科	41	38	38	100.0%	3	0	0
システム生体工学科	42	30	30	100.0%	8	1	3
生物工学科	41	29	29	100.0%	12	0	0
総合デザイン工学科	41	33	33	100.0%	2	0	6
合 計	270	213	213	100.0%	44	1	12

令和元年度 大学院修了者 就職者・進学状況

工学研究科 専 攻 名	修了者数	就 職 希望者数	就 職 者 数	就 職 率	後 期 課 程 進 学 者	専 門 学 校 等 進 学 者	そ の 他
建設工学専攻	4	4	4	100.0%	0	0	0
建築学専攻	13	13	13	100.0%	0	0	0
生命情報学専攻	6	6	6	100.0%	0	0	0
システム生体工学専攻	14	13	13	100.0%	1	0	0
生物工学専攻	11	11	11	100.0%	0	0	0
環境・生命工学専攻	0	0	0	-	0	0	0
大学院前期課程合計	48	47	47	100.0%	1	0	0
大学院後期課程合計	0	0	0	-	0	0	0

学部生就職率の推移



全国平均値は厚生労働省HPより抜粋

※「就職率」は、卒業年度中に就職活動を行い、卒業後速やかに就職を希望する者(就職希望者)に対する就職決定者の割合であり、進学・自営業・家事手伝い・留年・資格取得等を希望する者は含まれません。

後援会からのお知らせ

後援会活動についての詳細は、下記ホームページをご覧ください。

学生たちがより充実した学生生活を送る事が出来るよう、保護者の皆様から後援会に対するご意見・ご要望などをお寄せいただきたいと思います。また、後援会に対するお問い合わせや情報提供もお待ちしております。

前橋工科大学後援会事務局 (前橋工科大学学務課学生支援係内)

〒371-0816 前橋市上佐鳥町460-1

TEL: 027-265-7361 FAX: 027-265-3837

E-mail: kouenkai@maebashi-it.ac.jp

ホームページ: <https://www.maebashi-it.ac.jp/kouenkai/>

